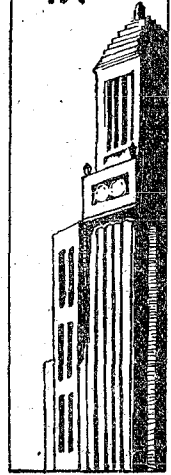


# 路政春秋



## 注意

本欄は讀者諸君の利用に提供す、治安と風俗とを害し又は人身攻撃に涉らざる限り奇想天外的の寄稿を望む、一文は四百字位にて取捨は編輯手に一任、原稿は道路の改良編輯部宛のこと。

## 架橋四十年にして

### 表彰の光榮

千葉縣千葉郡更科村中田島田彌久翁（六十九歳）は今は昔日露戰爭當時佐倉聯隊輸送上非常な障害を與へた江戸川の無橋状態を見て工費十萬圓を以て木橋江戸川橋（現在江戸川橋の前身）を架設せんと志し百万苦心の末遂に其の目的を達した尙縣會議員として十六年間に植林事業その他公益事業の爲めに盡力したる謙を以て府縣制五十年記念に際し縣政功勞者として表彰せられた、架橋四十年にして此光榮に浴す積善の家に餘慶ありとは同翁のことか。

## 鐵橋引揚げて内鐵兩

### 省間の難問題解決

山形縣庄内の最上川に架する羽越線餘目の鐵橋は該川改修工事に依り築堤を竣へたる處鐵橋が二米も堤防より低く改修の効果を削減すること甚しきものがあるとの理由で兩省間に交渉を重ねたが愈々延長八百餘米の大橋を引揚ぐることに決し着工の運に立ち至つた。一日往復八十餘回に互る列車時間的に言へば十八分毎に一回通過する列車の運轉を休止することなく而かも假橋も架けずに二米も引揚ぐることは全國に珍らしき劃期的大難工事として注目をひりて居

る、土木技術も進歩したもなるかな。

## 地方長官の眞劍味

### 内相をして決心の

#### ほぞを固めしむ

這回の地方長官會議は近來殆んど見られなかつた光景を呈し地方民の意を代表したと思はるゝ良二千石も何等の因縁に捕はれず克く言んとする所を言ひ得たのであるが兒玉内相は其の所感を述べられて「要は他に途はない。我々は各地方長官とともに唯一途に君のために殉ずるの決意に生きるあるのみだ、今回の地方長官會議における此の眞劍な姿に曲つて國民の信頼を得ること

が出来、國內政治に對する確たる信念が得られて行くところ、舉國一致の眞の體制が自ら生じて來るのではあるまいかと考へる私は此の會議を了へる際地方長官に對して唯一言「最後の勝利を得るためにお互に命がけでやらう」といふ言葉を贈り明日からの地方行政の合言葉にしようと深く決する次第である」と眞剣な心構は人を動かすの力あることが證せらるる。

## 分業か分擔か言葉の相違ではない

分業主義から分擔主義へとの標語は力強く放送さるべきであるとして頼邨理學博士は次の如く述べて居る曰く、

「筆者は多年科學の一部門に於ける一専門學徒として終始して來たものだが、専門學光彩讚美するよりも専門學乃至専門家の活動場面に於ける不自然にして、反科學的な繩張りの非効果的な存在が打破されねばな

らないのを痛感すること切なるものがあつた。勿論科學の發達にも、社會生活の圓轉にも政治の運用にも専門的分業の必要があり効績もある。けれども全體は部分の單なる集合であるべきものではない。あらゆる専門的分業が頭の髓によつて統制される事によつて一有機體は成立してゐる。統制された分業は分業ではなくて、分擔でなければならぬ。淺薄獨善的な分業主義は清算されて質實統一的な分擔主義がその處を得なければならぬ。『分業から分擔へ』と双手をあげて共鳴する。

## 道路工事中大曲玉の發見

鳥根縣飯石郡東須佐地方は幾多の傳説に富む所であるが山中の道路工事中に家鴨卵大曲玉形の硬質石が發見されたが其の石には模様と穴を掘らんとした痕跡が認められ夫に使用した器具の鑑定などに好事家の眼

をみはらして居る、又同地方で多年間に發見された土器、金環が古代研究の貴重な資料として専門家達の關心を呼んでおる。

## 蠅の雌雄の珍問答

そろ／＼蠅の季節となつて「うるさい」と云ふことを「五月蠅」と書く程である、うるさい型はとかく人から敬遠されるが某處に二人の女性があつた。A女曰く「五月蠅ね此の蠅は雄よ、雄はうるさいね」といふとB女問ふ「どうして雄といふことが分かる？」とA女答ふ「だつてピールの匂ひをかいて來るから」ぢや雌はどうして判る。とB女が問ふ、するとA女は「ソリヤ何んでもない鏡にとまるのが雌だ」と此蠅の雌雄判斷法もソレ「勘」の動きか、腰だめ主義かの判斷か。